

次に、議席4番、中久喜久雄君。

〔4番 中久喜久雄君登壇〕

○4番（中久喜久雄君） 議席4番の中久喜久雄です。皆様こんにちは。傍聴席の皆様には大変ご苦勞さまでございます。ただいま議長の許しを得ましたので、通告に従って質問いたします。

まず、下水道について、4項目に分けて質問させていただきます。

ただいま先輩議員の橋本議員からのるるいろいろ説明をお伺いして本当に勉強になりましたけれども、またきのうの齊藤政雄、関稔議員からの下水道についての質問に重複することがありますが、私なりの観点から質問させていただくことをご理解いただければと思います。

①として、利根左岸さしま流域下水道関連事業として、「境町公共下水道基本計画」の現状と今後の方向についてお尋ねします。第4次境町総合計画の公共水域の水質保全と公衆衛生の向上を図り、快適な生活環境を実現するための公共下水道第3期の事業許可区域の下水道整備を推進し、現在公共下水道普及率が64%と聞いております。また、公共下水道第3期事業許可区域（194ヘクタール）については、市街化区域と隣接する長井戸地区及び下小橋地区の早期供用を目標に、平成19年度完成を目指し積極的な整備を図りますとうたっておりますが、平成18年度末における時点での現状と今後の方向についてお尋ね申します。

②として、農業集落排水事業は、整備地区を7地区とする計画に基づき、平成2年より着手しており、現在は平成11年度に着手した境第3地区、塚崎、横塚、さらには平成14年度から境第4地区、稲尾、志鳥の整備に着手しており、総合計画の中では両地区とも平成20年度4月の供用開始を目指すとしてありますが、これらの整備進捗状況と残された年度における供用開始ができる今後の計画についてお尋ね申します。

③について、第4次境町総合計画の中から、改めて確認させていただきますが、下水道整備の最終目標に至るまでの境町公共下水道事業と農業集落排水事業との工事進捗状況が若干遅れているとの話も聞きますが、目標年度に向かったの計画の整合性についてお尋ね申します。現在までにおける公共下水道普及率は64%となっているそうですが、100%普及に向けての町の対策をお伺いいたします。

④として、私の地元である旧猿島地区において、今後の具体的な下水道整備事業についての計画をお尋ねします。

大きい2番として、質問事項の二つ目としての境町高齢者住宅の現状について、2項目に分けて質問させていただきます。

高齢者住宅の当初の位置づけは満たされているのかどうか、お尋ね申し上げます。平成16年8月臨時議会の議事録を拝見したところ、境町高齢者専用住宅は、いわゆる地域間の交流施設等々も含めたコミュニティー住宅としての位置づけを図る複合施設として計画したと説明されておりますが、現在の入居者について、当初目標に合致した方が入居しているかどうか、その現況をお尋ねします。

第2点として、境町高齢者住宅の管理運営上、町としての負担がどれくらいあるか、お尋ねします。

平成16年8月臨時議会議事録の中では、当初の建設費は国が4分の2、県が4分の1、町が4分の1で建設されたが、その後、管理運営費は家賃等で十分賄えるとの説明で議決されたとの話を伺っております。入居始まって以降の各年度の家賃収入と管理運営費との関連数字と、家賃について滞納など支障はあるかどうか、お尋ねします。

以上、大きく2点ほどに分けて質問させていただきましたが、関係者から誠意ある明快な答弁をお願いいたします。これで私の第1回の質問を終わります。

○議長（齊藤政一君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

町長、野村康雄君。

〔町長 野村康雄君登壇〕

○町長（野村康雄君） 中久喜議員さんのご質問にお答えを申し上げたいと存じます。

利根左岸さしま流域下水道の関連事業として、境町公共下水道基本計画の現況と今後の方向ということでございますけれども、まず境町公共下水道基本計画の現況でございますが、公共下水道の全体計画は940ヘクタールといたしまして、平成19年度までの認可区域、これが438.5ヘクタールとしております。平成18年3月31日までの進捗状況は、整備率が67.8%、水洗化率が64%となっております。今後の方向につきましては、現在の許可計画が平成19年までで切れますので、20年度からの認可申請を市街化区域に隣接する地域から進めていく予定で、先般も下水道部長がお話ししましたとおり、長井戸、猿山、さらに下小橋を認可区域として整備をとりあえず図っていききたいと、このように考えております。また、水洗化比率は、80%以上を目標として今後やらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げたいと存じます。

農業集落排水の関係、下水道整備の最終目標まで、さらに工事着工の猿島地区の件につきましては、助役の方から答弁をさせていただきます。

さらに、高齢者住宅の位置づけは満たされているかということでございますけれども、こちらにつきましても、総務部長の方から答弁させますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（齊藤政一君） 次に、助役、古谷功君。

〔助役 古谷 功君登壇〕

○助役（古谷 功君） それでは、私の方から農業集落排水事業の整備地域7地区の計画の中で整備状況と今後の計画ということにつきましてお答え申し上げたいと思います。昨日も関議員、さらには齊藤議員の方からありまして、重複するかと思いますけれども、ご理解をいただきたいと思っております。

平成9年に長田北部地区が供用開始しております。さらに、平成12年には境第2地区、浦向、一ノ谷等が供用開始しております。現在でございますけれども、境第3地区、塚崎、横塚、並びに境第4地区の稲尾、志鳥地区が平成21年度の供用開始を目指して現在工事施工中でございます。

また、今後の下水道整備の最終目標に至るまでの公共下水道計画と農業集落排水事業との整合性に

ついてでございますけれども、公共下水道の市街化区域を中心といたしました940ヘクタールの全体計画と農業集落排水事業では平成4年当時の構想計画にあります7地区でございます。長田北部、境第2、境第3、境第4、山崎、内門、そのほか伏木、蓮台、若林、百戸というような7地区につきまして、公共下水道の全体計画の見直し等調整しながら進めていきたいというように考えておるところでございます。

さらに、猿島地区の整備計画でございますけれども、大歩、中大歩、内門新田につきましては公共下水道で、それ以外の地区につきましては農業排水事業による整備を考えておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（齊藤政一君） 次に、総務部長。

〔総務部長 渡辺利夫君登壇〕

○総務部長（渡辺利夫君） それでは、私の方から高齢者住宅の現況関係につきましてお答えをさせていただきます。

まず、高齢者住宅の位置づけは満たされているのかとの件でございますが、この施設につきましては、満60歳以上の世帯と義務教育までのお子さんを持つ世帯などを対象に、少子高齢化社会に配慮した高齢者や子育て支援のための住居及び多くの世代が交流できる多目的コミュニティスペースが配置されております。世代間の共生が図れる住宅として、平成17年10月から公募によりまして入居を開始したところでございます。特に高齢者用住宅につきましては、バリアフリー化された住居の提供と地域社会の中で生活が続けられるよう、ご高齢の方の生活特性に配慮した設計設備のほか、在宅生活を支援するため、ライフサポートアドバイザーと呼ばれます生活援助員による簡単な生活支援サービスが受けられるようになっております。なお、入居に際してでございますけれども、高齢者用住宅管理規程がございます。それに基づきまして入居をいたしておりますので、満たされていると、そのように判断はしております。

なお、現在の入居状況であります、高齢者及び子育て支援ともすべて満室の状態となっております。

次に、管理運営上、町としての負担はあるのかというご質問でございますが、他の住宅同様、住宅建設に伴い借り入れました起債の元利償還、さらには共有部分の維持管理に要する費用等がございます。平成17年度の実績で申し上げますと、総額で285万円でございます。起債の利子の方が約230万円、それから電気、水道等の光熱水費、こちらの方が37万円、エレベーターの保守点検料として約14万円を支出しております。また、歳入につきましては、家賃収入が総額で360万円となっております。滞納の関係もお話ございましたので、高齢者においては、滞納者はございません。今後ともコミュニティホームあさひが丘住宅の維持管理につきましては、適切な管理運営に努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

○議長（齊藤政一君） ただいまの答弁に対し再質問はありますか。

中久喜久雄君。

○4番（中久喜久雄君） ただいまのご丁寧な答弁，ありがとうございました。

再質問といたしまして，農業集落排水事業についての関連で，長田地区，猿島地区南部が既に供用開始しておりますが，境町総合計画の中では，「処理水利活用や汚泥農地還元するリサイクル方法を検討します」と記しておりますが，これらについて，具体的にはどのように検討をされておりますか，お尋ね申し上げます。

さらにもう一点，公共下水道の推進の中で，雨水対策について，効率的な排水処理及び公害防止の観点から，公共下水道雨水1号幹線の汚泥除去作業，平成14年度から5カ年計画で進められていると推察しますが，計画の実施状況はどの程度進んでいるかお尋ねします。また，あわせて，染谷工業団地周辺での雨水対策の要望をよくお聞きしますが，当該地域での雨水対策は公共下水道雨水幹線の整備とあわせてどう検討されているか，お尋ね申し上げます。

よろしく願いいたします。

○議長（齊藤政一君） ただいまの再質問に対し答弁を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（渡辺節男君） それでは，ただいまの再質問についてお答えを申し上げたいと思います。

農業集落排水事業であります。先ほど助役の方から答弁しましたように，平成4年当時7地区に分けて整備するというふうな形で現在進めております。しかしながら，現在までに2地区の供用開始，そして2地区の施工というふうな形で現在は進めているわけですが，当初からしますと，かなり進捗状況等が遅れているというふうなこともございます。これは国の施策の中での部分もございますので

○議長（齊藤政一君） 今の再質問，リサイクル法をやっているのかと，それと雨水対策をやっているのかと，その2点。

○上下水道部長（渡辺節男君） 済みません。リサイクル法は，今後この農業集落排水事業の中でつくらなければならぬというふうなことがございますので，これから検討をさせていただきたいと。それで，行く行くはつくるような形になります。汚泥の処理等，農地還元というふうなことからでございます。現時点ではまだ計画の段階に入っておりませんので，この進捗，工事の施工絡みで，これから次年度以降でやっていくというふうな形で今進めているところでございます。

それと，雨水対策関係であります。非常に私どもの方では現在，町内の雨水というふうな形のみでありまして，いわゆるキンカ堂さん裏側の水路の整備費に費やしているというふうな形で，どうしても町単独の予算としては非常に難しい。また，県なり国の補助を仰ぎながらやっていくというふうな形で，現在あの下水水路を整備というふうな形で，汚泥の搬出，そういったもので非常に汚泥処理にかなりの金額を費やしているというふうな形で，現在年間3,000万ぐらいの予算しかないのですか

ら、その中でやっていくというようなことでありますので、私どもとしては精いっぱいやっているというふうな形で、これからも努力を重ねていきますので、ひとつご理解をお願いしたいと思います。

○議長（齊藤政一君） ただいまの答弁に対し再々質問はありますか。

中久喜久雄君。

○4番（中久喜久雄君） 大変いろいろと厳しい情勢の中でのいろいろご要望でございますが、ただいま私の方から質問させていただきました中での前向きな検討をお願いいたしまして、私の要望として、質問をこれで終わらせていただきます。どうもご静聴ありがとうございました。

○議長（齊藤政一君） これで中久喜久雄君の一般質問を終わります。

